



Model : IG-503E

タップ式チューブノズルツール (いすゞ専用) 取扱説明書

この度は、IG-503E : いすゞ専用チューブノズルツールのお買い上げ誠にありがとうございます。
ご使用前に内容品の確認と使用時における注意事項を熟読頂き、ご理解の上で使用くださいますようお願い致します。

【適合】

エンジン型式 : 4HJ,4HL,6HL,6HK、チューブノズル純正番号 : 8-97606661-0,8-97602301-1

【セット内容】



図番	商品名	型式	要数
01	抜き取り用アタッチメント	IG-503E-01	1
02	本体カラー	IG-503E-02	1
03	巻上げボルト	IG-503E-03	1
14	巻上げナット	IG-503-14	1
15	M12 座金	IG-503-15	1
26S	ポンチ A(溝 1 本)	IG-503-26S	1
27S	ポンチ B(溝 2 本)	IG-503-27S	1
28S	ポンチガイド	IG-503-28S	1
29	巻上げナット M 15	IG-503-29	2
30	M 15 座金	IG-503-30	2
44	フランジ	IG-503-44	1
45	ボルト M 8	IG-503-45	1

【※注意事項※】

- ・ツールの先端が燃焼室内に少し出ますので、作業シリンダー内のピストンが上死点にならないようにしてください。
- ・ネジ部および可動部にはモリブデングリスを切らず塗布してください。※故障を招きます。
- ・巻上げナット (IG-503-14) が重要です。作業時に入れ忘れると、アタッチメントとポンチが取れなくなります。
- ・使用方法の不良によるトラブルは、一切責任を負いかねますのでご注意ください。

ノズルチューブの抜き取り

※用意するもの

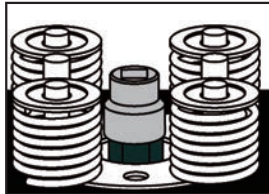
- ・ラチェットハンドル
- ・23mm ソケット
- ・適当なグリス
- ・ポンチ等
- ・プラスチックハンマー
- ・19mm メガネ、スパナ(2本)
- ・ドライバー

アタッチメント



1. アタッチメントの装着

- (1)ノズルチューブにポンチなどを使用して、プラスチックハンマーでショックを与える。
※固着を剥離する
- (2)本体アタッチメントの先端ネジ部にグリスを薄く塗る。
※切粉を燃焼室に落下させない
- (3)ノズルチューブにアタッチメントを入れる。

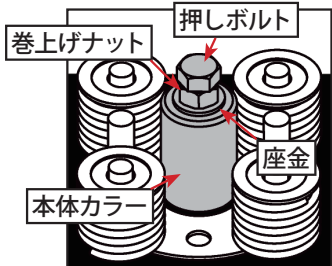
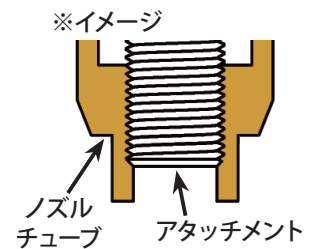


2. タッピング

- (1) 23mm のソケットをアタッチメントにセットする。
- (2)上から押しながらアタッチメントを回転させる。〈タッピング作業〉
- (3)アタッチメントをノズルチューブにしっかり食い込ませる。



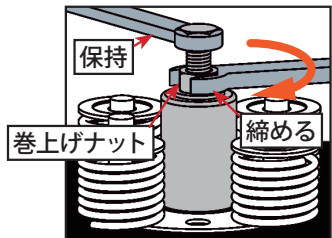
※ノズルチューブと一緒に回り出すまでが目安



3. 抜き取り

- (1)本体カラーをアタッチメントにかぶせる。
- (2)押しボルト Assy (押しボルト + 巻き上げナット + 座金) をセットする。
- (3)押しボルトを軽くとまるところまでねじ込む。

※巻き上げナット・座金を入れ忘れ無い事
ナットは十分にねじ込んでおく事
ネジ部にはグリスを切らさない事



- (4)押しボルトを保持する。(メガネ 19mm)
- (5)巻き上げナットのみ締め込んでいく。(スパナ 19mm)
- (6)ノズルチューブが引き上げられる。



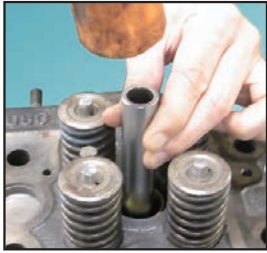
4. アタッチメントを外す

- (1)抜き取ったノズルチューブごとバイスに固定する。
- (2)アタッチメントを逆転方向へ回し、抜き取る。

ノズルチューブの組み付け

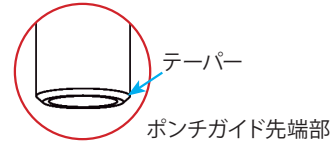
- ※用意するもの
- ・スチールハンマー
- ・12mm メガネレンチ
- ・6mm 六角レンチ

1. ノズルチューブの装着

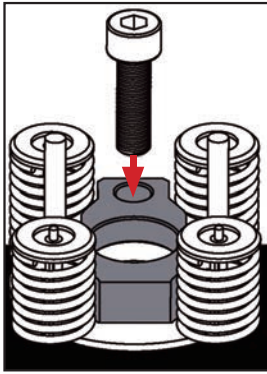


- (1)新品のノズルチューブとOリングを組み込む。
- (2)ポンチガイドを使い、ノズルチューブを定位置まで叩き込む。

※ポンチガイドはテーパ部を下にする事



2. フランジの固定

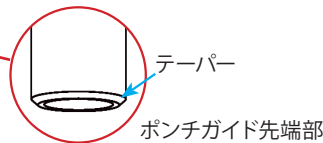


- (1)ボルト (IG-503-45) を使用し、フランジをシリンダーヘッドへ固定する。(6mm 六角レンチ)

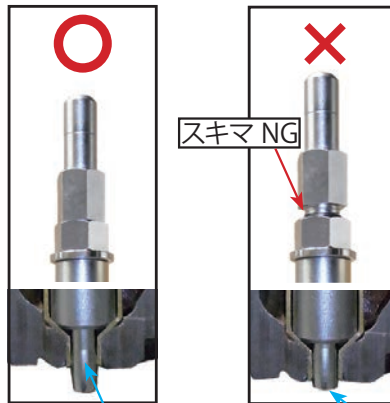
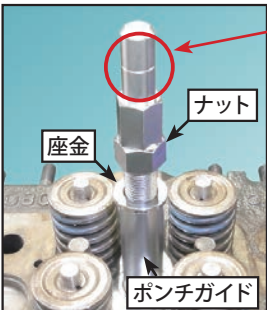
3. ノズルチューブのカシメ



- (1)ポンチガイドを入れる。 ※ポンチガイドはテーパ部を下にする事



- (2)ポンチ A [赤丸部ミソ 1本] の先端にオイルを塗ってからセットする。



※巻上げナットを締め込んでおく事
座金を入れ忘れ無い事

危険

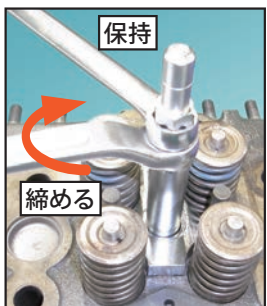
巻上げナットやワッシャーが無い状態で
使用すると、エンジン側が壊れるので
注意する事

オイルを塗る事

スキマがあると突出し不足になる



- (3)スチールハンマーでポンチを最後まで (止まるまで) 打ち込む。



- (4)ポンチを固定して巻上げナットを締め込んでいくとポンチが外れる。

※ポンチが供回りしないように注意する事

- (5)ポンチ B [ミソ 2本] に入れ替え、同じ作業を行う。

※必ずポンチ A → ポンチ B (ミソ 1本 → ミソ 2本) の手順でカシメる事